

心に残る文化財子ども塾 大田市立温泉津小学校

1.活動の概要

6月5日(水)、大田市立温泉津小学校で、6年生16名を対象に「心に残る文化財子ども塾」を実施しました。

はじめに、古代出雲歴史博物館職員が小学校周辺の遺跡を紹介しました。次に小学校の西側に位置する「中祖遺跡」から見つかった瓦や須恵器をはじめ、島根県西部で見つかった須恵器の坏や蓋、壺に触れてもらいました。土器に触れるのは皆初めてで、手触りや用途について考えてもらいました。

次に奈良の大仏が作られるに至った背景やその作業量を説明しました。そして大仏パネルの製作に取り掛かりました。子どもたちは協力してパネルを並べ、実物大の大仏の大きさを実感しました。そのあと大仏パネルの上で記念写真を撮りました。クラスの力をあわせて大仏を完成させて、その大きさを実感した一日となりました。

2.活動の様子





3.活動を終えて

1) 児童の皆さんから

- ・みんなで頑張って大仏パネルを作ったことが心に残りました（複数）
- ・大仏の実際の大きさがわかってよかった（複数）
- ・触ったことのない昔の焼き物（須恵器）をさわれた（複数）
- ・大仏パネルの上で写真を撮ったことが心に残りました。
- ・もっと島根の文化を知りたい。
- ・いろんな場所の遺跡について知りたい。
- ・石見銀山についてもっと知りたい（複数）

2) 先生から

・体験的に学べる良さがありました。また、この体験から興味関心が広がるのではないかと感じました。今後とも魅力ある内容を期待します。

3) 博物館から

事前に訪問して、体育館の大きさ、大仏パネルの搬入経路を確認しておいたため、当日の準備もスムーズに行うことができました。当日は2コマで1回分の授業として調整していただいたので、全体的に余裕のあるスケジュールで行うことができました。大仏パネルの開始から手際よく組み立てを行ったので、比較的早い時間で並べ終わりましたが、その後の質疑の時間を多くとることができ、生徒から多くの感想や質問を受けることができました。